

十日町市

令和8年度当初予算案

雪と生きる。大地に遊ぶ。

未来を創造するまち とおかまち



1.人にやさしい
まちづくり



2.活力ある元気な
まちづくり



3.安全・安心な
まちづくり



4.協働と共創の
まちづくり

「健全財政」と「物価高騰対策」「経済対策」の両立

令和8年度 一般会計・特別会計予算案

一般会計

364億円

前年度対比 +10億2,000万円 (+2.9%)

一般会計
及び
特別会計

506億4,600万円

前年度対比 +12億9,180万円 (+2.6%)

	前年度対比
国保	49億2,700万円 +1億1,800万円 (+ 2.5%)
診療所	1億9,400万円 △ 5,620万円 (△ 22.5%)
訪問看護	5,800万円 + 500万円 (+ 9.4%)
後期	10億1,900万円 +1億7,100万円 (+ 20.2%)
介護	80億2,800万円 + 7,800万円 (+ 1.0%)
温泉	2,000万円 △ 4,400万円 (△ 68.8%)
	<hr/>
	142億4,600万円 +2億7,180万円 (+ 2.6%)

※令和7年度は肉付予算額を含む

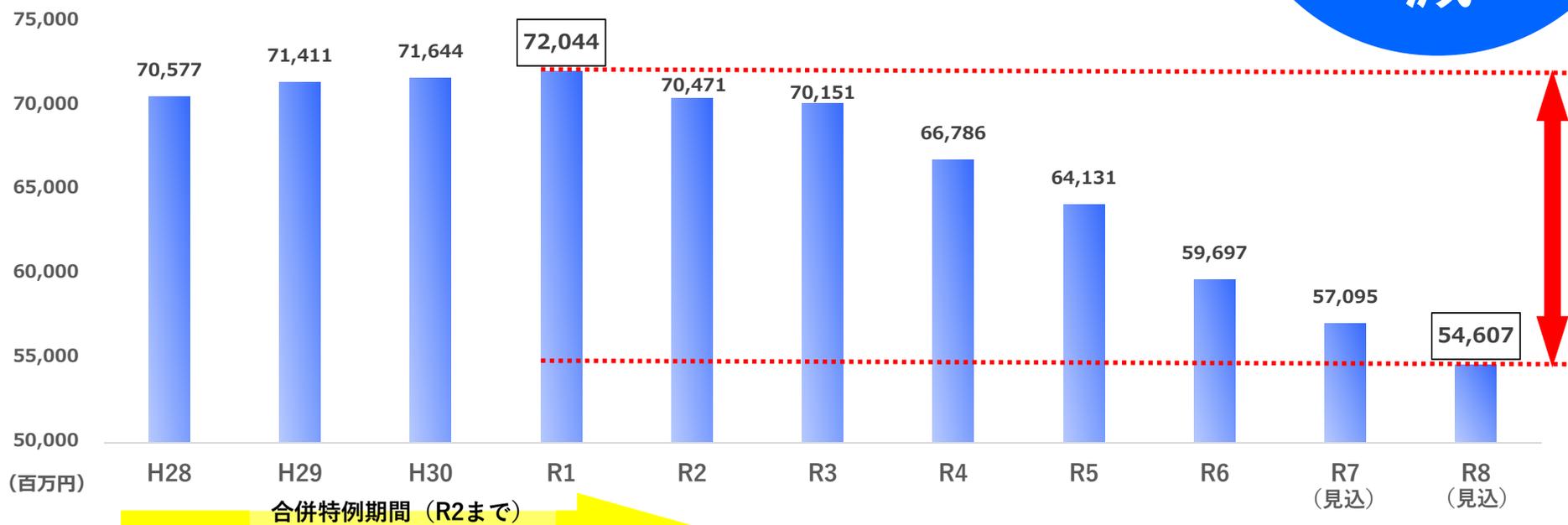
健全な財政運営に向けて

<将来負担のコントロール>

- 事業の選択と集中により必要な投資はしっかり行う。
- 過度な将来負担とならないよう新たな地方債発行を適切に管理。

ピーク (R1)
から
174億3,700万円
(△24%)
減

地方債残高(全会計)の推移



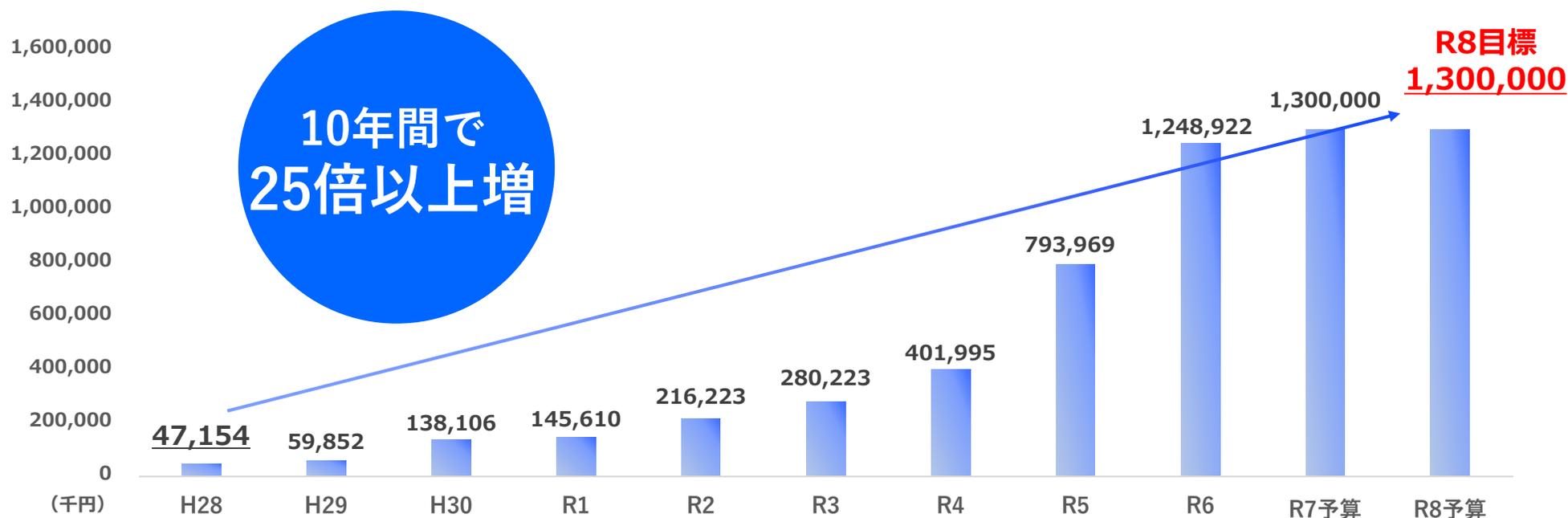
健全な財政運営に向けて

<効果的な自主財源の確保>

○「とおかまち応援寄附金」を活用し、地方創生のさらなる充実・強化を図る。

令和8年度当初予算額 **13億円**

年間受入額の推移



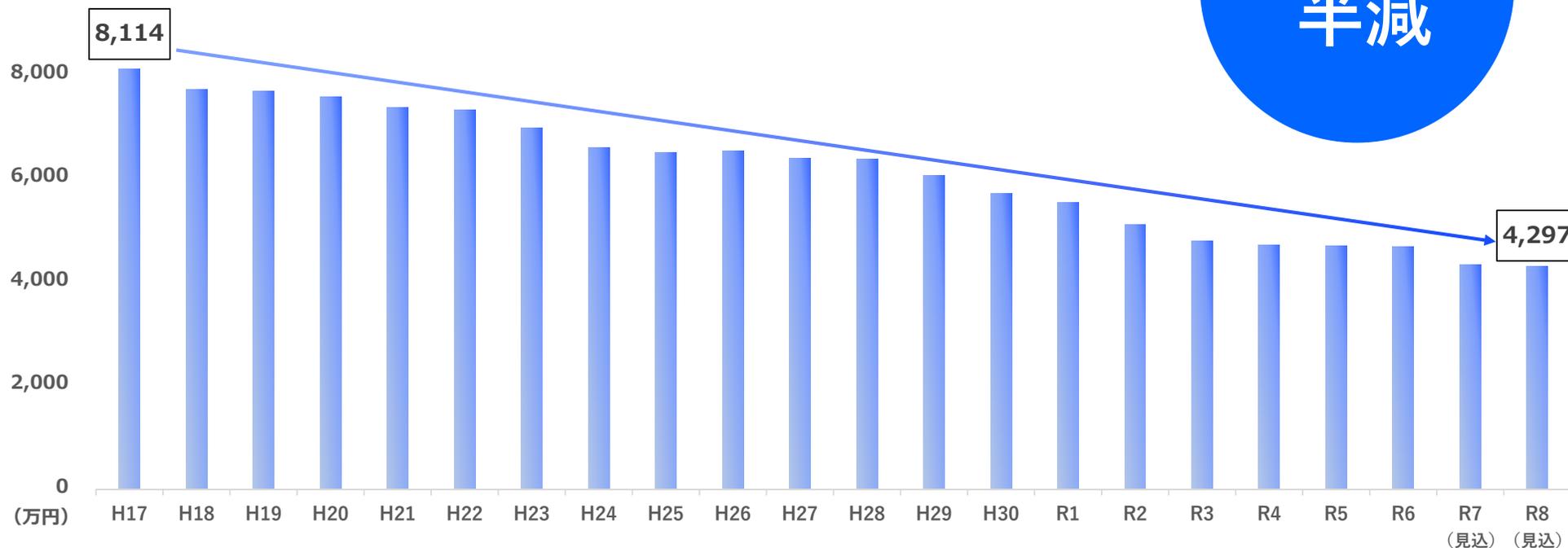
健全な財政運営に向けて

<借地料の縮減>

令和8年度当初予算額 4,297万円

合併時から
半減

借地料の推移(一般会計のみ)



物価高騰対策と経済対策

<物価高騰対策>

●水道料金基本料の減免(6か月間)

●保育園副食費の補助、小学校給食費の無償化、中学校給食費の補助

●プレミアム商品券を発行(R8.3~)

●省エネリフォームおよび省エネ家電買い替えを補助

●介護福祉施設の光熱費を補助(R8.2~R8.3)

●子育て世帯、ひとり親世帯へ給付金(R8.2~)

●住民税非課税世帯へ給付金、灯油購入費等を補助(R8.2~)

※国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(重点支援交付金)等を活用し、「15ヵ月予算」で支援

物価高騰対策と経済対策

<経済対策>

●農業者への支援

施設整備・機械整備の補助率を大幅に拡充、スマート機械購入支援、渇水対策の拡充

●事業者への支援

消融雪設備の導入補助、外国人を含む人材確保、デジタル技術・人材育成、販路拡大支援

●観光施設の整備および日本遺産を活用した新商品開発を支援

●企業支援(企業設置奨励事業等)と道路整備による人の流れの創出

●再生可能エネルギー利用設備の導入支援 (県内トップクラスの補助金)

●公共交通の利用促進 (まつだい駅=十日町駅間の増便、高齢者の運賃補助、市内協賛店での割引特典)

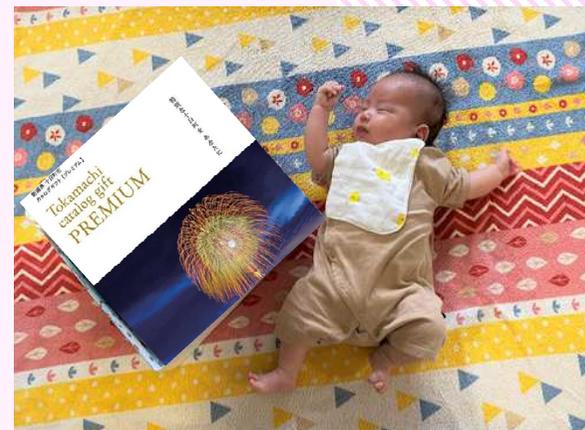
1. 人にやさしいまちづくり (1) 安心して子どもを産み育てられるまち

《「こどもまんなか社会」の実現を目指して》

● Welcome Baby プレゼント事業を実施

(新規) 150万円

- ・ 子どもの誕生を祝い、当市のカタログギフトをプレゼント
- ・ 対象：当市在住で令和8年4月1日以降に生まれた子ども
- ※ 他の自治体で生まれ、出生年度内に当市に住民登録した場合も対象



■ 子ども・子育て会議の開催

(拡充) 43万円

- ・ 子どもの意見反映や今後の保育園の再編などについて、委員を1名増員して意見を聴取



1. 人にやさしいまちづくり (1) 安心して子どもを産み育てられるまち

《「こどもまんなか社会」の実現を目指して》

■ ファミリー・サポート・センターの充実 (拡充) 322万円

【事業改正内容】

- ・ 提供会員報酬：「700円」を「1,000円」に引き上げ
- ・ 利用料：「生活保護受給者」及び「同時に同一世帯で2人以上預ける場合は2人目以降半額」に改正
- ・ 対象者：「生後6か月から小学生まで」を「生後4か月から小学生（障がい者は中学生）まで」に拡大

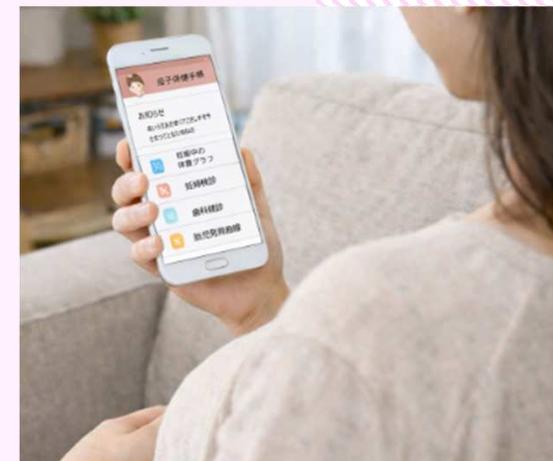


《切れ目のない子育て支援》

● 母子健康手帳アプリを導入

(新規) 53万円

- ・こどもの成長記録や予防接種管理、子育て情報のプッシュ型配信などができるアプリの導入により紙の母子健康手帳を補完し、妊産婦や子育て世帯の利便性を向上



● 妊婦の市外出産を包括的に支援

(継続) 400万円

R8.1月 事業スタート

- ・市内で分娩できる医療機関がなくなることを受け、市外出産を余儀なくされる妊婦が安心して出産に臨めるよう、妊産婦健診や出産に係る交通費・宿泊費などを支援

※妊婦一人あたり「安心パック給付金」5万円支給



1. 人にやさしいまちづくり (1) 安心して子どもを産み育てられるまち 《切れ目のない子育て支援》

● 病児保育施設の新設を支援

(新規) 1,307万円

- ・ 清津福社会の令和9年度「病児保育施設開設」に向けて、施設整備費用を支援



■ 保育園副食費の保護者負担を軽減

(継続) 178万円
(重点支援交付金)

- ・ 食材費の価格高騰に対する支援



《学校教育の充実》

● スクール・サポート・スタッフの配置 (新規) 607万円

- ・市内小・中学校6校に、新たに教職員の事務補助を担うスクール・サポート・スタッフを配置
- ・教育職員が児童生徒に向き合う時間を確保し、学校教育の質の向上を図る



● 小学校入学・卒業時祝品支給事業 (新規) 474万円

- ・市立小学校の入学時に「十日町市カタログギフト」を
また卒業時には「十日町市カタログギフト PREMIUM」を
祝い品として贈呈
- ・カタログに掲載された地場産品やイベントの体験を通して、
十日町市の魅力への理解を深め、郷土愛を醸成し、キャリア教育を推進



《学校教育の充実》

■ 学校生活や適切な学びの場を サポートする教育支援員の配置

(拡充) 1億5,730万円

- ・障がいのある子どももない子どもも、可能な限り同じ場で教育を受けられる仕組み（インクルーシブ教育システム）を推進
- ・特別支援学校・学級の児童生徒や、通常の学級における特別な支援を要する児童生徒の支援のため、学校生活や個別最適な学びをサポートする教育支援員を市立学校に59人配置



■ 通級指導教室の増設

(拡充) 137万円

- ・児童生徒の成長や発達を促す指導を行うため、小中1校ずつ増設【通級指導教室】種別（設置校）
 - ▶ 言語（十日町小、川治小、※千手小）
 - ▶ 発達（十日町小、千手小、中条小、水沢小、西小）
（十日町中、南中、※川西中）
 - ▶ 難聴（十日町小）

※新設



《魅力ある教育活動の推進》

● 小学校給食費を無償化

(新規) 2,322万円
(重点支援交付金)

- ・ 学校給食費の全額を公費負担

■ 中学校給食費の保護者負担を軽減

(継続) 1,849万円
(重点支援交付金)

- ・ 学校給食食材費の価格高騰に対する支援を継続し、保護者の経済的負担を軽減

■ 学校給食を通して「食育」を推進

(継続) 506万円

- ・ 地場産品を使用した「とおかまちメニュー」や生産者等との交流給食を通して、子どもたちに十日町市の食の魅力を発信し、食育を推進



地場産品を使用した「とおかまちメニュー」



市内農業生産者との交流給食

《学校教育環境の整備》

■ 学校施設の計画的な整備

(継続) 2億240万円
(令和7年度国補正を含む)

老朽化した学校施設の改修、屋内体育館や特別教室等の照明LED化やエアコン設置などにより、教育環境の安全性・快適性を向上

- ・ 屋内体育館照明LED化改修 (飛一小・鏡島小・上野小・橘小・松之山小)
- ・ 屋内体育館エアコン設置 (川治小)
- ・ 屋内体育館エアコン設置設計 (橘小・下条中)
- ・ 特別教室エアコン設置 (南中・中里中・松代中)

■ 児童・生徒用タブレット端末の更新

(継続) 2億1,388万円

令和3年度にGIGAスクール構想のもとで整備したタブレット端末の更新

- ・ 児童・生徒用タブレット端末の更新 iPad 3,230台購入



タブレットを使用した授業の様子

《高齢者福祉と介護サービスの充実》

● 養護老人ホーム妻有荘の改築を支援 (拡充) 5億649万円

- ・ 築50年が経過する養護老人ホーム妻有荘の改築工事を支援し、入居者の安全性の確保と快適な居住環境の整備を図る
 - ▶ 補助対象 社会福祉法人妻有福祉会
 - ▶ 事業計画 R8 新居住棟の建設
R9 旧居住棟の解体
 - ▶ 総事業費 13億1,700万円 (当市支援額 7億9,800万円)



完成イメージ図

● 介護人材確保・介護テクノロジー導入を支援 (拡充) 1,300万円

- ・ 介護・障がい福祉人材の確保や介護テクノロジーの導入等を支援し、介護職員等の負担軽減・業務効率化を図る
 - ▶ 職員等の人材紹介・採用
 - ▶ 外国人材の社宅整備
 - ▶ 職員等のキャリアアップ
 - ▶ 介護テクノロジーの導入



《高齢者福祉と介護サービスの充実》

● 訪問型サービス活動Dのモデル事業開始 (新規) 500万円

- ・ **外出が困難な方の移動を支援**し、社会参加や生活の維持を図る
- ・ 家事支援を行う団体がモデル事業を実施
対象：要支援認定者等
実施団体数：5団体

- ① 通院や買い物等をする場合における付き添い等の支援
 - ↳ 【利用者負担】片道250円+ガソリン代等の実費相当
 - 【市補助】サービス提供分500円+1,000円
(施設内での付き添いありの場合)
- ② 通所型サービスや通いの場等への送迎支援
 - ↳ 【利用者負担】ガソリン代等の実費相当のみ
 - 【市補助】サービス提供分1,000円



1. 人にやさしいまちづくり (3) 地域で支え合いみんなが安心して心豊かに暮らせるまち 《障がいのある人への支援の推進》

● 「なかまの家」の移転新築を支援 (新規) 2億2,516万円

- ・ 築43年が経過した障がい者支援施設「なかまの家」の移転新築を支援し、入所者の安心・安全な生活を確保
 - ▶ 補助対象 社会福祉法人十日町福祉会
 - ▶ 事業計画 R8~9本体建設工事
R9.12月竣工 R10.3月開設
 - ▶ 総事業費 14億535万円 (当市支援額 9億266万円)



完成イメージ図

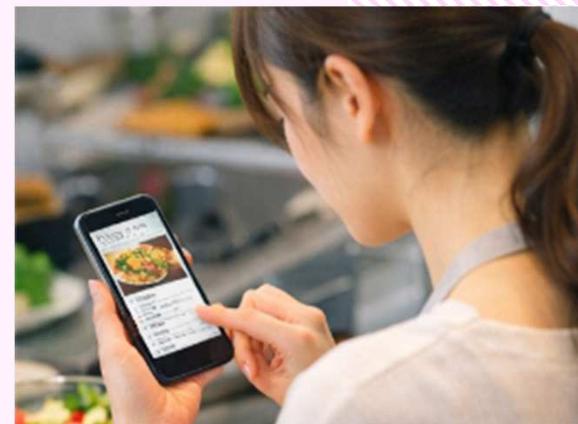
《健康づくりの推進》

● ICT活用による健康レシピ（調理法） を発信 (新規) 49万円

- ・料理レシピサービスを活用し、簡単・時短・少ない食材でできるレシピや地場産品を使ったメニューなどを発信し、食育と健康づくりを一体的に推進

● 「健康ポイ活事業」で新イベントを開催 (拡充) 92万円

- ・「**チーム対抗ウォーキングイベント**」などを新たに開催し、楽しみながら健康づくりに取り組める機会を提供
 - ▶参加者全員にポイント付与
 - ▶条件達成したチームには抽選で賞品を贈呈



アプリ「グッピーヘルスケア」

1. 人にやさしいまちづくり (4) 生涯元気で健やかに暮らせるまち 《地域包括ケアシステムの推進・強化》

● 新潟大学との更なる連携で「医療DX」を推進 (継続) 100万円

- ・新潟大学と連携し、医療DXプロジェクトを推進
- ・地域の医療や健康、暮らしを守るため、デジタル技術を活用
- ・オンライン環境で服薬指導を可能とするなど薬局の運営を支援



■ 市立訪問看護ステーションおむすびの体制強化 (継続) 5,800万円

- ・多様な市民ニーズに柔軟に対応するため、**看護師を1名増員**し体制強化を図る
- ・開設5年目を迎え、これまで以上に多様な市民ニーズに対応

【延べ利用回数】

R6年度 5,452回

R7年度 5,632回 (見込)

R8年度 5,808回 (試算)

【常勤換算】

6.5人

7.7人

8.7人



《地域医療の充実》

● 県立十日町病院の分娩再開に向けた後押し (新規) 3,800万円

- ・県が取り組む産科医及び助産師確保に向けた支援
- ①産科医・助産師研究資金貸与事業 2,800万円
- ②医師派遣大学寄附事業 1,000万円



● 県立十日町看護専門学校に通う学生への支援を拡充 (拡充) 630万円

【内容】

- 家賃補助：月額家賃の1/2 補助上限1万円→2万円 (拡充)
- 通学費補助：通学定期券購入費の1/5 年間補助上限3万円

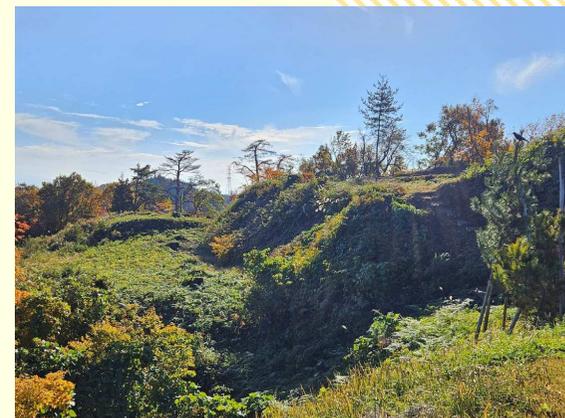


《地域資源を活用した文化観光の推進》

■ ナカゴ・節黒城跡周辺の再整備

(継続) 2,033万円

- ・ 観光客の回遊を促進するため、自然に触れあいながら歴史文化を体感できる拠点としての節黒城跡を再整備
- ・ 堀や土塁などの遺構の保護と、山城本来の姿を再現するため立木を伐採



節黒城跡展望台からの眺め

■ 星峠の棚田展望台周辺の整備

(継続) 1,765万円

- ・ 観光客の利便性を向上させるため、ふるさと納税を活用し、トイレや展望台の改修および不足している駐車場を整備
- ・ 国道403号線沿いに誘導サイン看板を設置



星峠の棚田

《地域資源を活用した文化観光の推進》

■ 大地の芸術祭第10回展に向けた準備 (継続) 2億9,900万円

- ・ 第10回展の開催に向けたアーティストの選定や集落とのマッチング
- ・ 今後の芸術祭のあり方を見据えながら、常設作品の整理、拠点施設の改修などを実施

① 第10回展に向けた運営事業費 (継続) 9,000万円

② 常設作品整理事業費 (継続) 2,000万円

③ 拠点施設改修等事業費 (継続) 1億8,900万円
越後妻有里山現代美術館MonET、光の館、奴奈川キャンパス、
まつだい雪国農耕文化村センター農舞台、東川美術館、
清津峡溪谷トンネルエントランス・駐車場 ほか



第9回展開会式



奴奈川キャンパス「大地の運動会」

《文化観光の推進による地域ビジネスの活性化》

● 日本遺産ストーリーを活用した新商品・新サービスの開発を支援

(継続) 357万円

- ・地域の歴史文化を活用した経済活性化を図るため、市内事業者による、**日本遺産ストーリーを活用した新商品開発を支援**



手織り体験

■ 大地の芸術祭を活用した地域ビジネスの促進

(新規) 1,000万円

- ・市内事業者を対象としたワークショップなどを**新たに**開催し、大地の芸術祭を活用した効果的な事業を企画



大地の芸術祭を活用した商品

《移住・定住の促進》

● 二地域居住・関係人口向け支援窓口の設置

(新規) 2,000万円

- ・二地域居住・関係人口支援員を新たに2名配置し、二地域居住希望者の相談や、関係人口向けの交流イベントを実施
- ・今後創設される「ふるさと住民登録制度」に先駆けて、イベント情報や住民登録フォームを盛り込んだ独自サイトを開設



● 地域の課題解決と関係人口の創出に向け 実践女子大学のフィールドワークを支援

(新規) 102万円

- ・実践女子大学が、市内で実施するフィールドワークに要する交通費等を支援することで地域の課題解決や、関係人口の創出、将来的な移住定住に繋げる



実践女子大学との連携事業のキックオフイベント

2. 活力ある元気なまちづくり (1) 人びとが行き交い繋がり深まる魅力あふれるまち

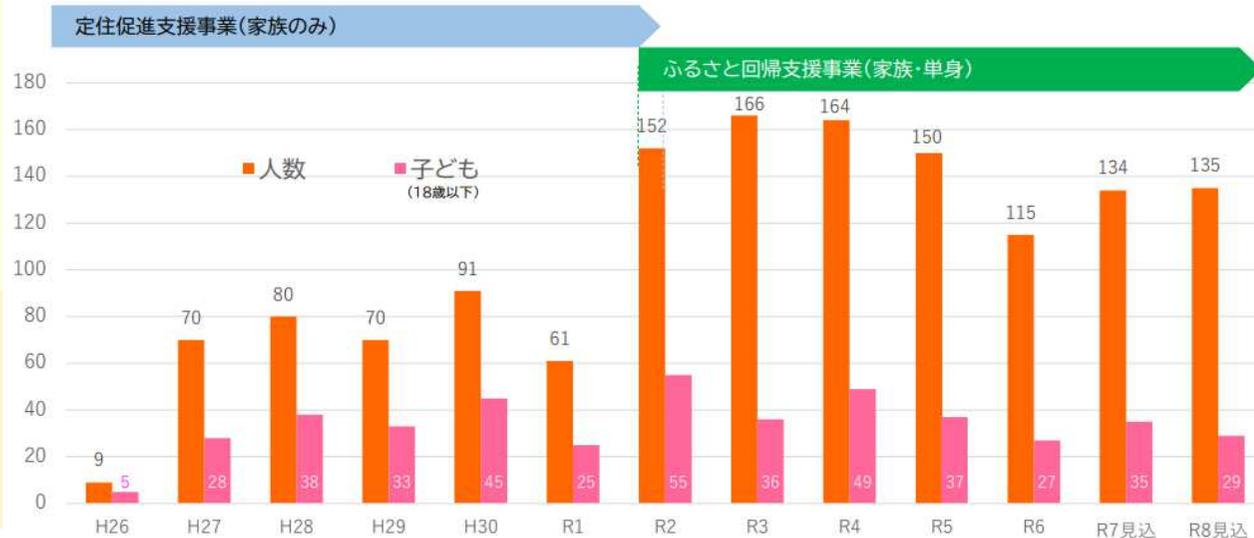
《移住・定住の促進》

● U I ターン者の増加に向けた取組みの推進

(拡充) 3,688万円

- ・ U I ターンした単身者や世帯に対して、基本助成、テレワーク助成、住宅取得助成、家賃補助など、県下トップクラスの独自支援 (最大300万円)
- ・ 若者の定住やUターンを促すため、高校生向けライフデザイン講座を開催
- ・ 移住検討者向けUIターン情報誌の発行や首都圏での移住相談会への参加
- ・ 移住者世帯に対し、新たに市のカタログギフトをプレゼント

平成26年度から令和8年度までに、合計 **1,397人** (663世帯、うち子ども442人) を補助金で支援



首都圏での移住相談会への参加



《移住・定住の促進》

● 地域留学の推進

(新規) 236万円

- ・ 県立松代高等学校に、都市部からの留学生を募集し、令和9年度からの新入学生の受入れを目指す

情報発信料、マッチング会（東京）2回参加負担金	160万円
旅費・パンフレット作製費等	76万円



県立松代高等学校

《移住・定住の促進》

■ 移住前から移住後まで一貫した相談支援 (継続) 1,200万円

- ・ 移住支援員2名を配置した移住相談窓口「十日町市移住コンシェルジュ」において、仕事・住まい・子育て・支援制度を含めた総合相談を実施
- ・ 移住後の悩み相談や、移住者同士の交流会を開催するなど、移住後をサポート
- ・ 地域が開催する移住者交流会などの企画・運営をサポートし、移住者を受入れる地域住民の意識を醸成

【実績】令和4年(開設年)～令和7年12月末

- ・ 相談件数 2,132件
- ・ 移住者数 74組 130人



十日町市移住コンシェルジュのスタッフ



移住者交流会の開催

《移住・定住の促進》

■ 地元で頑張る若者を支援

(継続) 1,106万円

- ・ 大学生等通学定期代補助事業 事業費 456万円
市内の自宅から公共交通機関を利用して、大学等へ通学している学生に対して、通学定期代の20% (上限6万円) を補助
- ・ 新規卒業者地元就職祝金支給事業 事業費 650万円
十日町市を離れずに、最終学校を卒業して1年以内に、市内の企業等へ就職した若者に対して、就職祝い金10万円を支給



《中心市街地活性化の推進》

■ 拠点施設を活用したにぎわい創出

(継続) 3,077万円

「分じろう」、「十じろう」を活用し、50以上が出店する「とおか市」や、高校生が活躍する「歌うま選手権」などの人気イベントをさらに充実させ、幅広い世代が集うにぎわいを創出

【主な取り組み】

- ▶ 市民が主体となる定期イベントの開催
「とおか市」、「こどもパークASOBO」
「まちなか食堂」、「ちょいまち歩きツアー」など
- ▶ 高校生・市民活動団体が主体となるイベントの開催
「まちなか×GAKUENSAI」、「高校生歌うま選手権」
市民活動ひとサポまつり「めっかめっか」
- ▶ 各種講座や地元愛を育てる出前授業を実施
市民かつどう教室「学じろう」、「市内高校への出前授業」
「芸術祭ざつだん会」など
- ▶ イベントのPRや市民活動を応援
「ひとサポ通信」、「十日町市市民活動案内所」



50以上の出店で賑わう「とおか市」



熱唱で盛り上げ「高校生歌うま選手権」

2. 活力ある元気なまちづくり (2) 活力ある農林業と魅力的な里山のあるまち 《農業の担い手の育成・確保》

● スマート農業機械の導入支援を拡充

(拡充) 3,000万円
(重点支援交付金)

- ・ 経営規模の拡大に意欲のある認定農業者などに対して、農業機械の導入を力強く支援

① 認定農業者、認定新規就農者、農業法人、任意組織

- ・ 補助率 1 / 5 → **1 / 3 (拡充)**
- ・ 補助上限 20万円 → **50万円 (拡充)**
- ・ スマート農業機械加算 10万円 → **50万円 (拡充)**

(合計) 最大30万円 → **最大100万円**

② 地域計画の「利用者」に位置付けられる農業者の支援を追加 (新規)

- ・ 補助率 1 / 3
- ・ 補助上限 10万円 ※スマート農業機械加算なし



スマート農業機械による田植え



ドローンによる農薬散布

《農業の経営基盤の強化・生産基盤の整備》

● 頻発する異常渇水の対策を重点支援

(拡充) 1,191万円

・ 近年頻発する**異常渇水**の被害防止対策を支援

①小規模ため池の新設・改良を支援 450万円

- ・ 補助率 50%
- ・ 補助上限 50万円 → **150万円 (拡充)**
- ・ 中山間直払、多面区域 対象外 → **対象 (拡充)**

②既存ため池の浚渫（泥上げ）を支援 (新規) 300万円

- ・ 補助率 50%
- ・ 補助上限 50万円

③小規模土地改良、軽微な農道等の整備を支援 441万円



渇水の被害



農業用ため池

《農業の経営基盤の強化・生産基盤の整備》

● クマ等の鳥獣被害対策を拡充

(拡充) 662万円

- ・ 頻繁に出没するクマ等から市民の安全を守るため、新たな支援を追加
 - ① 実施隊の謝礼金を増額 (拡充) 時給1,250円→1,500円
 - ② クマの捕獲報酬 (新規) 1頭あたり2万円
 - ③ 放任果樹の伐採支援 (新規)
- ・ 有害鳥獣による農作物被害等の減少を図るため、電気柵の設置や狩猟免許取得を支援



クマの捕獲

■ 日本型直接支払交付金による支援

(継続) 7億9,120万円

- ・ 中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金を活用し、農業農村の持続活動を支援
 - ① 中山間地域等直接支払交付金 4億8,035万円
 - ② 多面的機能支払交付金 3億596万円
 - ③ 環境保全型農業直接支払交付金 489万円



有機栽培 (環境保全型)

《森林の整備・森林資源の循環利用》

■ 森林整備の促進

(継続) 1億512万円

- ・森林資源の活用や循環利用を促進するため、計画的な森林整備を実施

①市有林・市行造林（国県補助）	46ha	6,201万円	} 合計68haを整備
②私有林（森林環境譲与税）	22ha	3,553万円	
③現地調査、森林作業道の敷砂利支給		758万円	



森林整備（間伐）

■ 木育・市産材活用の促進

(拡充) 300万円

- ・自然体験フェスティバル開催への支援 (新規) 100万円
- ・市産材の木育製品を乳幼児へ配布、公共施設に設置 130万円
- ・市産材製品の開発、PRに係る費用へ補助 30万円
- ・民間事業者等の市産材木工品購入費用へ補助 40万円



木育製品で遊ぶ幼児

《地域産業を担う人材の確保・育成》

● 企業の人材確保・育成の支援

(拡充) 1,733万円

- ・ 中高生に地域の企業や産業の魅力を伝える「**まちの産業発見塾**」の開催
- ・ 大学生等を対象とした**合同インターンシップ**や**伝統技術を学ぶ学生と**
きもの産業とのマッチングを新たに実施
- ・ ミッション型地域おこし協力隊などを活用した雇用活動のさらなる充実



まちの産業発見塾での企業紹介

■ 新たな担い手の確保

(継続) 900万円
(重点支援交付金)

- ・ 労働力の確保のため、**外国人材の採用**に取り組む企業を支援
- ・ 雇用の促進のため、**社員寮を整備**する企業を支援



社員寮の整備

《地域企業・地域産業の活性化》

● 十日町市を牽引する企業の支援

(拡充) 5,150万円
(重点支援交付金)

- ・対象を全業種に拡充して融雪設備整備や機械の購入を支援
- ・省エネルギー化への取組みを対象設備を拡充して支援
- ・企業のデジタル化の推進に向け、IT関連企業によるヒアリングなどの新たな伴走支援や各種セミナーを開催



除雪機械 (ホイールローダー)

■ 新製品・新サービスの開発と販路拡大への支援

(継続) 3,430万円
(重点支援交付金)

- ・新たな製品開発とサービスの提供を行う企業を支援
- ・地域資源を生かした製品の魅力を積極的に発信する企業を支援
- ・きものの魅力発信や販路拡大につながる取組みを支援
- ・地域商社(クロスステン)が営業マンとなり、市内産品の出張販売や首都圏飲食店との取引などを行い、小規模事業者製品の販路拡大を支援



魅力あるパッケージ (きもの×お米)

《地域産業の新しい展開》

■ 新規創業者などへの支援

(継続) 1,005万円

- ・ 中小企業診断士の指導による創業相談、創業セミナーを開催
- ・ 新たなビジネスプランを掘り起こす「**ビジネスプラン審査会**」の開催
- ・ ビジネスプランの事業化への支援（クラウドファンディング型ふるさと納税含む）に加え、成長・販路開拓等に向けた伴走支援
- ・ 創業後間もない事業者及び既存企業の経営課題解決に向けた支援



ビジネスプラン審査会

■ 企業投資への支援

(継続) 1億8,810万円

- ・ 県内トップクラスの制度を継続
- ・ 新たに整備される**宿泊施設**への支援
- ・ 事業の規模拡大や維持、生産性向上のために設備投資を図る企業を支援
- ・ 既存の支援対象企業に対して、利子補給や増加従業員数に応じた補助金などで支援



新たに整備される宿泊施設のイメージ

《市民による学びの場づくりへの支援》

■ 平和を希求する心を育み、次世代へ継承 (継続) 101万円

- ・とおかまち市民楽校 (広島・長崎平和学習会)
- ・原水爆禁止十日町市民大会
- ・広島市派遣事業 (広島派遣団中学生感想発表会&講演会)
- ・長崎市派遣事業 など



中学生広島市派遣事業

■ 自然環境教育の推進

(継続) 1,021万円

キョロロ周辺の里山の自然環境を活用し、学びにつながる
様々な体験型事業を実施

- ・里山体験プログラムの実施
- ・総合的な学習など学校教育と連携した教育的利用の促進
- ・里山の生物や自然環境に関する市民参加型調査の実施
- ・キョロロの**自然科学系博物館登録**の記念イベント開催 など



《文化芸術活動の充実》

■ 多彩で親しみやすい公演の開催

(継続) 400万円

「段十ろう」で開催する多ジャンルにわたるコンサート・公演

- ・ 中西圭三 & 宮本貴奈コンサート
- ・ 林家たい平独演会
- ・ こどもオペラ
- ・ 劇団四季ミュージカル

など



中西圭三

林家たい平

■ 第58回十日町市美術展の開催

(継続) 91万円

- ・ 期日 令和8年11月
- ・ 会場 越後妻有文化ホール・中央公民館「段十ろう」
- ・ 目的 鑑賞機会の充実と表現活動の奨励
- ・ 内容 日本画・洋画・版画、彫刻・現代美術・工芸、書道、写真の4部門 (出展点数 … 概ね230作品)



2. 活力ある元気なまちづくり (4) 誰もが自由に楽しく学び多様な文化にふれあえるまち 《歴史文化遺産の保存・活用の推進》

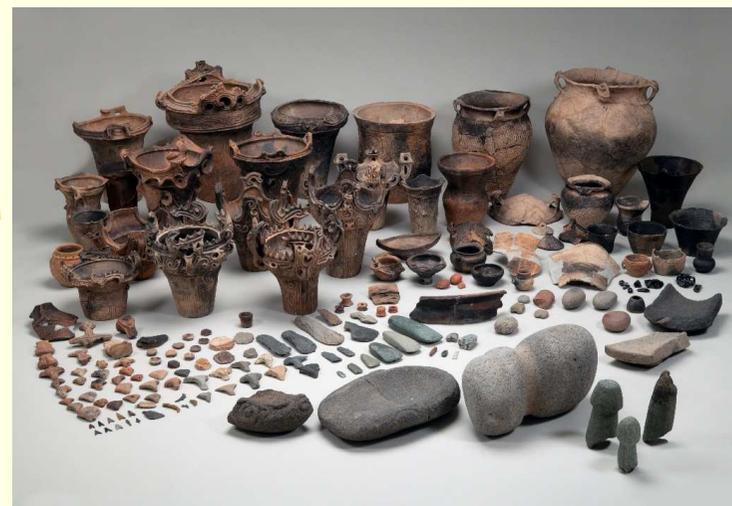
■ 博物館 特別展・企画展などの開催

(継続) 589万円

- ・ 秋季特別展「縄文時代の地域間交流の拠点「野首遺跡」」(仮)を開催
- ・ 国宝・重要文化財を含む、山形、福島、山梨、長野県の縄文時代遺跡から出土した土器や土偶などを展示
- ・ 夏季企画展「野首遺跡出土品展」(仮)や冬季企画展を開催
- ・ 博物館講座や体験イベントなどを開催



十日町市博物館「TOPPAKU」



野首遺跡出土品

《スポーツの振興》

● 陸上競技場の改修

(新規) 1億5,641万円

- ・第2種陸上競技場として5年間の公認を更新するため、施設改修や備品整備を実施



● 十日町市総合体育館アリーナの空調整備

(新規) 322万円

- ・夏場の猛暑による運動中の熱中症リスクを軽減するため、十日町市総合体育館アリーナの空調整備設計を実施



《スポーツの振興》

■ 第二次十日町市スポーツ推進計画を策定 (継続) 432万円

- ・十日町市スポーツ推進計画（H29～R8年度）が令和8年度をもって終了することから、次期の第二次十日町市スポーツ推進計画（R9～R18年度）を策定



■ 中学校の休日部活動の地域展開を支援 (拡充) 726万円

- ・令和8年8月から、中学校の休日部活動は、地域クラブ活動にて実施
- ・新たに経済的困窮世帯の生徒への支援（月額1,500円）
- ・地域クラブ活動の運営費の支援や、より良い活動環境の整備を進めるため、推進委員会や指導者研修会を開催



《防災対策の推進》

● 災害時の情報配信ツールを強化

(新規) 334万円

- ・ J-アラートシステム及び防災行政無線、十日町あんしんメールの情報配信ツールに、新たにLINE及びヤフー防災を加え情報伝達手段の多重化を図る



「LINE」・「ヤフー防災」と連携配信

● 地域防災計画・国土強靱化地域計画の改定

(新規) 793万円

- ・ 国や県の改定を踏まえて、十日町市地域防災計画（R3改定）及び十日町市国土強靱化地域計画（R2策定）を改定



3. 安全・安心なまちづくり (1) 災害に強く安心して暮らせるまち

《消防・救急体制の充実》

【十日町地域広域事務組合事業】

● 消防団の組織再編

(新規) 568万円

- ・従来の5方面隊組織を廃止し、十日町市消防団として一本化
- ・組織の再編による設備・装備の更新



● マイナ救急の推進

(新規) 16万円

- ・令和7年10月から実証事業に取り組んでいるマイナ救急事業を4月1日から正式運用開始
- ・救急隊がマイナ保険証から医療情報を確認するための専用機器を整備し、適切な処置や円滑な医療機関への搬送につなげる



《消防・救急体制の充実》

【十日町地域広域事務組合事業】

■ 消防車両の更新

(継続) 6,399万円

- ・ 初期消火活動の中枢を担う水槽付き災害対応特殊消防ポンプ自動車を更新（しづみ分署配置）
- ・ 消防体制の一層の充実と強化の向上を図る



《ゼロカーボンシティ・資源循環型社会の推進》

■ 再生可能エネルギー利用設備の導入支援

(拡充) 980万円

- 太陽光発電、蓄電池、地中熱利用設備、木質バイオマスストーブの設置に加え、新たに小水力発電、雪冷熱設備等の設置を対象とし、県内トップクラスの補助金を交付



民間事業者による太陽光発電施設

■ 省エネ家電への買換えを支援

(継続) 1,000万円

(重点支援交付金)

- 家庭におけるエネルギー費用の負担を軽減するため、省エネ性能の高いエアコン、冷蔵庫の買換えに対して補助金を交付



省エネ性能に優れたエアコン・冷蔵庫

《ゼロカーボンシティ・資源循環型社会の推進》

■ 持続可能なごみ処理の推進

(継続) 6億4,606万円

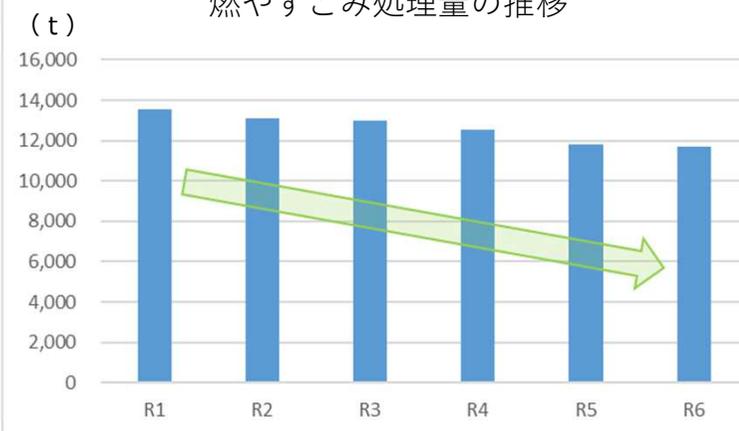
事業の説明

- ・ごみステーションからの収集運搬
- ・エコクリーンセンターの運営、運転
- ・資源物のリサイクル
- ・古着や食器等の無料回収 など継続
- ・ごみ処理の効率化を図るため、津南町等周辺自治体との連携を推進



十日町市エコクリーンセンター

燃やすごみ処理量の推移



《地域の発展と安全・安心につなげる道づくりの推進》

● 市道整備の推進

(継続) 4億1,470万円

(令和7年度国補正を含む)

- ・ 道路ネットワークの強化や、安全・安心な歩行者空間の確保を図るため、幹線道路を着実に整備

▶ 整備路線：17路線

【道路改良】 延長 1,148m (14路線)

稲荷町線 (令和8年度完了予定)、高山水沢線、沖立堤防1号線、干溝市之越線、木和田原濁峠線、浦田松之山線 (ほか)

【歩道整備】 延長255m (3路線)

北新田線 (令和8年度完了予定)、新宮野中線 (ほか)



稲荷町線 道路改良箇所



北新田線 歩道整備前

《地域の発展と安全・安心につなげる道づくりの推進》

■ 道路施設の老朽化対策

(継続) 3億8,033万円

- ・老朽化が進む道路施設に対し、定期点検や橋りょう修繕などの予防保全型メンテナンスを計画的に実施し、安全・安心な交通を確保

- ▶ 定期点検 : 橋りょう76橋
スノーシェッド・シェルター 7基
- ▶ 橋りょう修繕 : 10橋
中沢橋、新越道大橋 ほか
※令和12年度迄に要対策橋りょうの修繕を完了
- ▶ 舗装修繕 : 15路線
浅河原新町新田線、東田沢3号線 ほか



大石大橋 橋りょうの点検状況



中沢橋 橋桁の損傷状況

《持続可能な上下水道事業の推進》

● 水道基本料金ゼロ事業

(新規) 2億9,000万円

(重点支援交付金)

物価高騰支援として水道基本料金を全額免除

- ・対象者 : 水道事業全契約者 約20,000件 (公的施設を除く)
- ・対象期間 : 6か月間
7月～12月請求分 (十日町地域の一部、川西地域)
8月～1月請求分 (上記以外の地域)

口径 (例)	基本料金 (税込)
13mm	2,365円/月
20mm	2,530円/月



《持続可能な上下水道事業の推進》

● 計画的な施設更新

(継続) 4億500万円

- 千手浄水場 改築事業 6,500万円
事業期間 : 令和7年～11年度
総事業費 : 15.2億円
令和8年度 : 創設浄水場建屋・配水池撤去 送水管仮設工事
- 第5水源電気設備更新事業 2億5,000万円
事業期間 : 令和7年～令和9年度
総事業費 : 3.4億円
令和8年度 : 受変電設備更新 仮設電源工事
- 十日町市下水処理センター更新事業 9,000万円
事業期間 : 令和3年～令和12年度
総事業費 : 36億円
令和8年度 : 汚泥濃縮設備(機械・電気)更新
沈砂・水処理設備改築基本設計



棟内のろ過機(S45)



更新する創設浄水棟(S45)



十日町市下水処理センター
「汚泥濃縮棟」



汚泥濃縮設備

《持続可能な上下水道事業の推進》

■ 基幹管路の耐震化

(継続) 1億2,000万円

(令和7年度国補正分)

- 重要基幹管路の耐震化事業

事業期間 : 令和元年～10年度

総事業費 : 11.5億円

令和8年度: 配水管耐震化工事 L = 400m

(十日町交通センター～本町西線)



地震に強い耐震管に更新

■ 施設の統合・ダウンサイジング

(継続) 1億6,700万円

- 下水処理施設の統合

1億5,500万円

(農業集落排水「下条処理区」の公共下水道への接続工事)

- 松之山地域の簡易水道統合 (詳細設計業務)

1,200万円



施設統合のため下水道管を設置

《持続可能な公共交通ネットワークの構築》

■ 松代地域と十日町病院を結ぶ公共交通の充実 (拡充) 614万円

- ・ 県立松代病院の無床診療所化に伴い、十日町病院への公共交通による移動手段を確保するため、路線バス十日町＝松之山温泉線の **まつだい駅＝十日町駅間を増便** (3便⇒6便の3便増)



十日町＝松之山温泉線のバス

■ 高齢者の運賃を補助 (継続) 295万円

- ・ 75歳以上の高齢者を対象に、市内を運行する公共交通 (路線バス、タクシー、市営バス、予約型乗合タクシー、高速バス、鉄道) を利用する際の運賃の一部を補助 (割引)
【補助金額】1人当たり3,000円 (1月当たり1,000円)

■ 市内店舗と連携した公共交通利用促進 (継続) 19万円

- ・ 公共交通の利用者に市内協賛店舗で使用できる代金割引等の特典が受けられるサービス券を配布 ※市公式LINEのショッピングカード機能を活用



公共交通を利用する高齢者

《安心して暮らせる住宅・公園等の整備推進》

● 空き家等対策の推進

(新規) 1,250万円

- 危険な空き家等の発生を防ぐ**除去工事**および地域の活力向上を図る**取得、改修工事への補助制度**を新たに実施

▶ 空き家等の除却工事

- ・ 居住誘導区域内 補助率：50% 補助上限額：30万円
- ・ その他の区域 " : 50% " : 20万円

▶ 空き家等の取得、改修工事

- ・ 居住誘導区域内 補助率：50% 補助上限額：50万円
- ・ その他の区域 " : 30% " : 30万円

※ 居住者が子育て世帯の場合、10万円加算



空き家の除却工事



空き家の改修イメージ

《安心して暮らせる住宅・公園等の整備推進》

■ 住宅省エネリフォームへの支援

(継続) 3,000万円
(重点支援交付金)

- 住宅の断熱性向上や、省エネ効果の高い設備機器の設置など、リフォーム工事への補助を実施

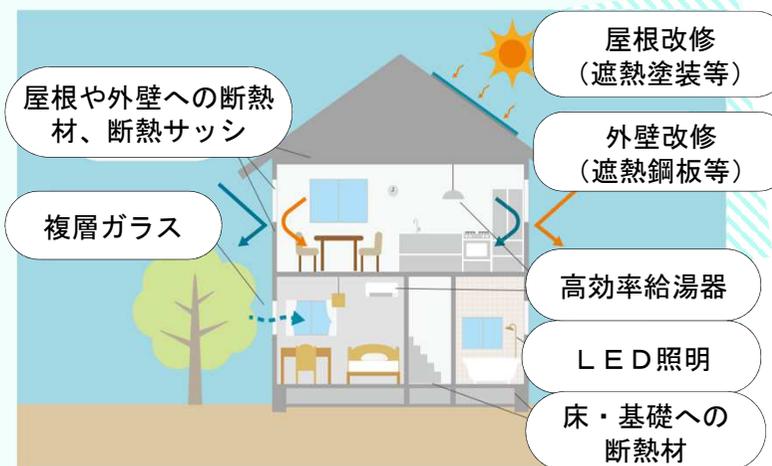
▶ 住宅省エネリフォーム工事
補助率：20% 補助上限額：10万円

■ 公営住宅の整備

(継続) 8,380万円

- 老朽化が著しい住宅等について、公営住宅等長寿命化計画に基づき除却工事を実施

▶ 除却対象住宅：市営 黒沢住宅 1~4号棟（計25戸）、集会所



省エネリフォームの工事例



市営黒沢住宅（築49~54年）

《安心して暮らせる住宅・公園等の整備推進》

■ 住宅の耐震化の促進

(継続) 600万円

- 旧耐震基準（昭和56年5月以前）で建築された木造住宅の、倒壊防止を図るため、耐震対策に対する補助を実施

- ▶ 耐震診断 自己負担額：1万円 補助額：6～9万円
- ▶ 耐震改修 補助率：1/2 補助上限額：120万円
- ▶ 耐震シェルター "：1/3 "：30万円
- ▶ 除却 "：1/3 "：30万円



耐震対策の方法

■ 公園等施設の老朽化対策

(継続) 910万円

- 公園の安全・安心な利用を確保するため、老朽化が進む公園施設を、利用状況等を踏まえた公園長寿命化計画に基づき更新
 - ▶ 遊具の更新：中条児童遊園地、宮本公園、寿南公園、四ツ宮公園



遊具の更新事例（中条児童遊園地）

《計画的な土地利用の推進》

■ 地籍調査事業の推進

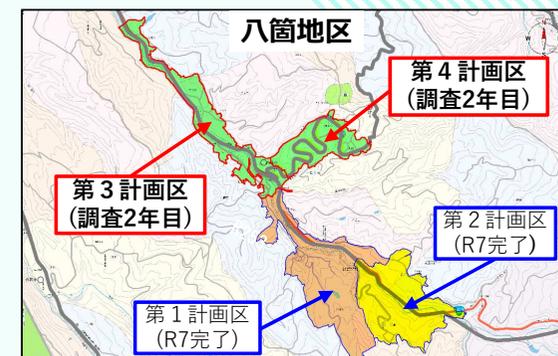
(継続) 6,610万円
(令和7年度国補正分)

- 土地に関する施策を円滑に推進するため、八箇地区、松代地域の未調査地域において、地籍を確定する調査を計画的に実施

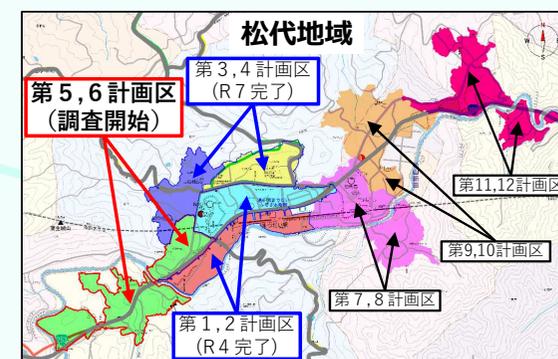
▶ 地籍調査箇所：八箇地区 第3、4計画区 (計 0.50 km²)
松代地域 第5、6計画区 (計 0.39 km²)

地籍調査の効果

- 土地取引の円滑化
- 災害発生時における早期の復旧・復興
- 公共事業、民間開発事業のコスト縮減や期間短縮
- 固定資産税の課税の適正化 など



調査位置図 八箇地区 2 / 4計画区完了



調査位置図 松代地域 4 / 12計画区完了

《持続可能な除雪体制の確保》

■ 道路除雪の推進

(継続) 14億4278万円

- ・ 人材確保につながる除雪基本料金支払制度の継続
- ・ 除雪機械を計画的に更新
 - ▶ 市道機械除雪延長：約475 k m
 - ▶ 除雪機械更新：除雪ドーザ1台



道路除排雪

■ 消雪パイプ・流雪溝の計画的な更新・整備

(継続) 3億6243万円

(令和7年度国補正を含む)

- ・ 消雪パイプは井戸や散水管を更新
 - ▶ 4施設 (井戸更新 2本、散水管更新 計300m)
- ・ 流雪溝は供用区域を拡張
 - ▶ 流雪溝整備計画エリア：十日町学校町地区、川治地区、川西地域



消雪パイプによる融雪

《市民のくらしを支える雪処理支援の充実と利雪親雪の促進》

■ 克雪住宅の普及促進

(拡充) 1,941万円

- ・ 冬期間でも安心して暮らせる住宅の普及を図るため、克雪化工事の補助を拡充
- ・ 屋根の雪下ろし作業に伴う転落事故を未然に防止するため、命綱固定アンカー等の防止装置の設置に対する補助を実施

▶ 住宅の克雪化工事 (補助計 **1,441万円**)

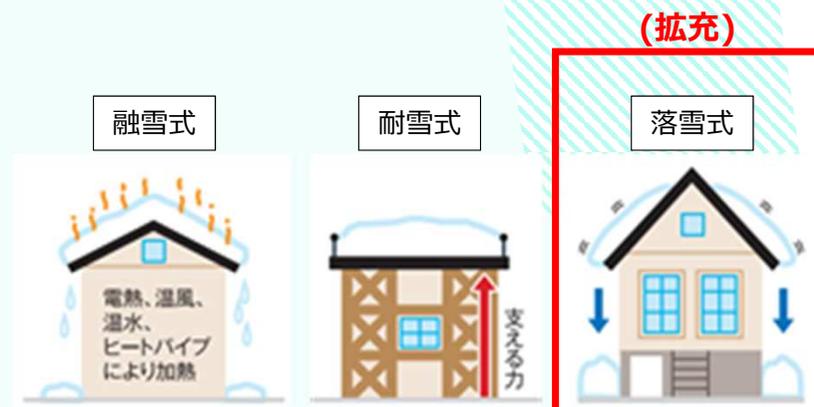
融雪式	補助上限額	: 44万円
耐雪式	"	: 33万円
落雪式	"	: 33万円

拡充
内容

- ・ 要援護世帯の加算額を増額：最大11万円 → 22万円
- ・ 加算区域の拡大：中心市街地活性化区域 → 居住誘導区域
- ・ 加算区域の対象に落雪式を追加

▶ 住宅屋根の転落防止装置設置 (補助計 **500万円**)

補助率	: 50%	補助上限額	: 10万円
※加算	要援護世帯	: 最大 5万円	



克雪住宅の形式



命綱固定アンカーを使用した雪下ろし

《人権尊重の推進》

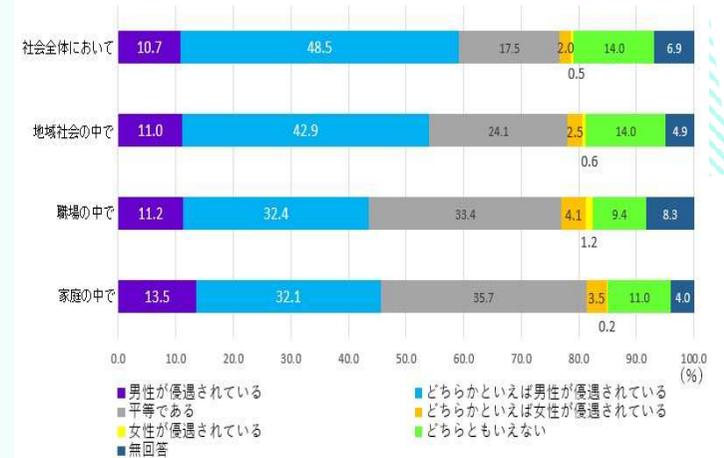
● 男女共同参画推進に向けた取り組みを支援

(新規) 200万円

- ・ 市内事業者が実施する男女共同参画推進に向けた取り組みを支援
- ・ 新潟県が認定する「女性に魅力ある職場づくり」を行う市内企業に対する支援制度を**新設**
※女性に魅力ある職場づくりの例：
 - 働く女性の職場環境の整備（更衣室、休憩室、トイレ等）
 - 男性の育児休業の取得促進
 - 妊娠・出産・子育て関連の有給休暇制度の取得促進
- ・ 研修会の開催等、ジェンダーギャップの解消に向けた取り組みを支援する補助金を**新設**

(第3次男女共同参画基本計画策定時)

R4年度市民意識調査「男女の地位の平等感について」



《地域自治の充実・集落対策の推進》

● 水沢地区市民センターの改修

(新規) 660万円

- ・ 令和7年4月1日に市内第1号として誕生した水沢地区市民センターの1階部分を改修し、利便性を高めることで、多世代からの利用を促進
- ・ 令和8年度は、地域ニーズを確認（ワークショップ）し、基本構想・基本設計を実施



水沢地区市民センターオープニングイベント

《地域自治の充実・集落対策の推進》

■ 地域おこし協力隊員を配置し地域の活性化を支援 (継続) 1億1,657万円

- ・ 集落活動の取り組みなど、地域の要望に応じて地域密着型の協力隊員を配置
- ・ 協力隊員の新規募集や活動支援を(一社)里山プロジェクトに委託し、サポート体制を強化
- ・ 隊員の定住率向上のため、退任後の起業や就業を支援

【協力隊員委嘱】 令和8年度当初：19名予定



新市誕生20周年記念事業
「十日町市地域おこし協力隊フェス」

《地域自治の充実・集落対策の推進》

■ 地域自治組織の自治活動を支援

(継続) 6,484万円

- ・ 公共を支えるパートナーである市内13地域自治組織に対し、自治活動を支援
- ・ パワーアップ事業交付金により、地域独自で実施する
移住定住促進事業や高齢化集落の買い物支援の仕組みづくりを支援
- ・ 集落安心づくり事業に取り組む集落のうち、世帯数や高齢化率に応じて交付金を加算



お買い物バスお試し運行 (松之山自治振興会)

■ 地域支援員による地域課題解決の推進

(継続) 2,835万円

- ・ 地域が直面する特有の課題に対して、関係者間の調整や話し合いを通して、住民が自ら考え、解決するための取組みを推進
- ・ 地域と行政の繋ぎ役として、地域コミュニティの継続・発展に向けた取組みの企画、実施を支援 (令和8年度当初：7地域8名を配置予定)
- ・ 高齢化が著しい集落の課題を調査し、支援策を検討



吉田こども起業塾「夢をかなえるこどもおいも屋」
(吉田地域自治振興会)

《市民活動の推進》

■ 友好自治体との市民交流

(新規) 126万円

- ・ 全国川西会議の構成自治体である兵庫県川西市で開催される少年野球大会に十日町市チームを派遣し、市民交流を推進

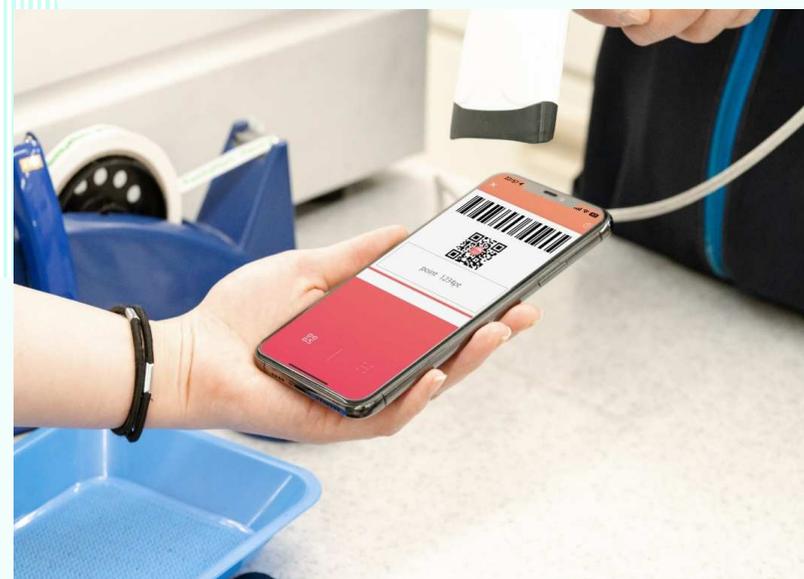


古田旗争奪少年軟式野球記念大会

《柔軟で効率的な行政運営》

■ 証明発行手数料の支払いにキャッシュレス決済を導入 (拡充) 220万円

- ・ 本庁舎の証明発行窓口における手数料の支払い方法を拡充し、窓口の利便性を向上



4. 協働と共創のまちづくり (2) 持続可能な自治体経営で未来を創るまち 《健全な財政運営》

● ふるさと納税を活用した十日町ファンの拡充 (継続) 寄附金総額13億円を目標

- ・ 宿泊施設などで現地決済ができる「現地決済型ふるさと納税」の取扱店を増やし、市内観光の活性化と十日町ファンの拡充を図る
- ・ 「リピーター向けのDM配信」や、シティプロモーションを中心とした市直営サイト「とおかMATCH」のPR行い、十日町市の魅力を発信

(参考)

令和6年度寄附金総額 12億4,892万円

令和7年度寄附金総額 10億3,298万円 (令和8年1月末時点)

【その他の主な取組み】

- ・ 返礼品の更なる充実
- ・ クラウドファンディングの実施



宿泊先などでスマートフォンから簡単にふるさと納税

